

一生続く筑波大学の教職の縦と横の繋がり 「教育実習シェア会」(11083A・12027A)

下村 理愛 (教育研究科 スクールリーダシップ開発専攻 1年)

はじめに

「筑波大学は教職の繋がりが全然ないなあ…」と思っているそこのあなた！

「教育実習の準備って何をすればいいの？」とお困りの後輩の皆さん！

「事後指導ではできなかったぶっちゃけトークをしたい！」という先輩の皆さん！

「教員になって全国に散らばっても繋がる仲間を筑波大学で作りたい！」というキミ！

そんな皆さんの想いをぜんぶ解消するイベントが教育実習シェア会です。

これだけわかってもらえたもうOKです(笑)。

教育実習シェア会で私たちが創りたいもの

これまでに、教育実習事前シェア会、教育実習事後シェア会と2種類のイベントを行いました。これらの2つのイベントで共通していることは先に述べたように「筑波大学内の教職の繋がりを創る」ということです。

「事前」シェア会では、先輩たちの話を聞いて、後輩が教育実習で「よりよい失敗をするために」というテーマを掲げてイベントを行いました。時期は教育実習目前の4月で、約40名が参加しました。前半は先輩から教育実習に関するプレゼンを行いました。生活面は福原遼平さん（教育研究科1年）、授業面は大澤明梨さん（社会学類4年）、部活面は稻垣謙次郎さん（人間総合科学研究科1年）がプレゼンをしました。私が一番印象に残っているのは福原さんの「忙しすぎて、解放されるのが夜中だけなのでATMが使えません。お金は事前におろしておきましょう。」です。後半は先輩後輩を混ぜた小グループに分かれて質問＆アドバイスタイム。学校の事前指導では絶対聞けない様な質問がたくさん出ました。

「事後」シェア会の時期は実習が終わったばかりの6月末と11月頭で、6月の第1弾では約30名が参加しました。学校で行われる事後指導では、語りきれなかったところまで小グループに分かれて思う存分語ってもらいます。前半のランダムグループ別では



「教室の教卓が及ぼす教員と生徒の関係性」という深い話までいく班もあり、後半の教科別では教科観の熱い話がそれぞれ聞けました。また、そんな先輩の話を純粋に聞きたい、先輩たちと話したい、先輩たちと繋がりたいという、後輩の皆さんから多くの触発が生まれました。中にはイベントをきっかけに運営メンバーになってくれた人もいました。

経験をシェアすることで得られるものはいっぱいあると思います。経験はその人の一部なので、人間理解にも繋がって、いつの間にか仲良くなっています。だから私はこのイベント、メンバーが大好きです。こんな素敵な機会を持たせてくれた、T-ACTの先生方、ご協力いただいた教職授業担当の先生方、本当にありがとうございました。

長く続く筑波大学の教職の縦と横の繋がり「筑波教育ネットワーク」

このイベントの枠を超えて、筑波大学の長く続く縦と横の教職の繋がりを作っています。筑波教育ネットワークはFacebook上の繋がりですが、気軽に悩みを相談できる場や、教育や教職のイベントの情報共有する場として設置しました。例えば「一緒に試験の勉強をしましょう！」、「来週こんな教育のイベントがあります！一緒にいきませんか？」など。ぜひここでも繋がりを作って、将来、教員になっても初心を思い出す仲間がいたら心強いですよね。そんな関係が筑波大学から日本中に広まつたらいいな、と考えています。

Facebook group : 筑波教育ネットワーク



事前シェア会で生活面について
プレゼン中



スタッフのみんなと！
みんなラーメンが大好き！



事後シェア会でのグループ別の話し合い